

サニタリードライブって？

生理用品、マスクなどの衛生用品を寄付してもらい、これらを購入することが難しい方に無償提供する取り組みです。コロナウイルス感染症拡大による貧困など様々な貧困を背景に自治体などで、昨今取り組まれるようになりました。



櫻庭理事（左）と小柴さん（右）



サニタリードライブで寄付された用品を提供しました。

4月22日（金）にるいけ店で実施したサニタリードライブで寄付して頂いた衛生用品を5月20日（金）に、八戸暮らし・しごと応援センターへ贈呈しました。当日は組合員活動部加藤部長、櫻庭理事、青山理事が、同センターの小柴さんに用品を手渡しました。贈呈された用品は、コロナ禍でアルバイトができず困っている学生や生活困窮世帯の女子生徒へ配布されました。



5月13日五所川原地域の総代懇談会・組合員集会の様子



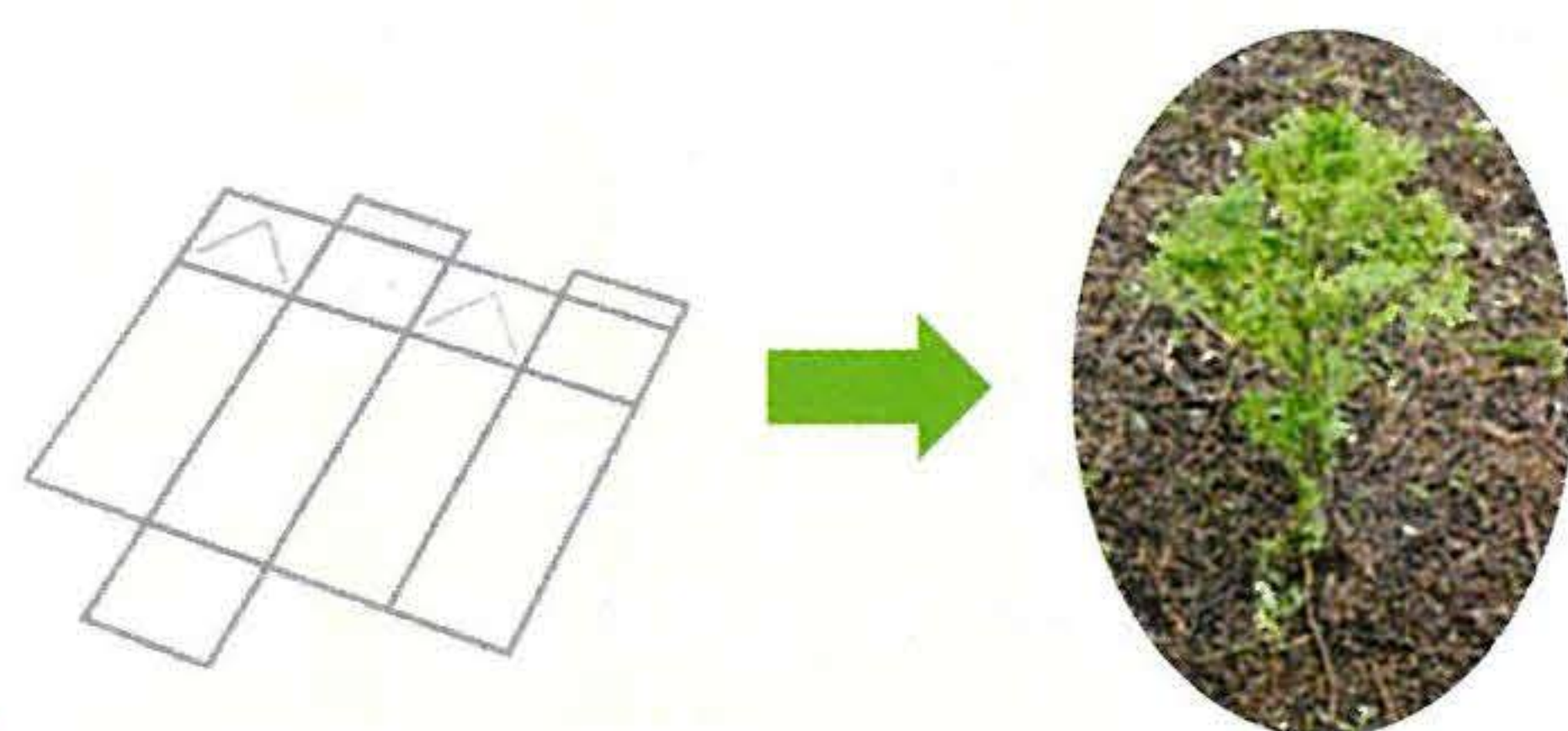
6地域で総代懇談会と組合員集会を開催しました。

5月中旬～下旬にかけて、6地域で総代懇談会と組合員集会を開催しました。総代懇談会は、通常総代会に先立ち、総代会で提案される「議案」の事前説明などが行われました。組合員集会では、前年度の活動報告や地域のリーダー・委員会の紹介、今年度の活動方針の確認がされました。

生協ふれあいの森って？

『生協ふれあいの森』は、青森県生活協同組合連合会が2000年から実施している牛乳パック回収運動の収益金を活用した取り組みです。

青森と三八上北の両森林管理署のご指導のもと、眺望山（青森市）、仙人平（十和田市）の2ヶ所に「生協ふれあいの森」があり、毎年、5月、6月に植樹祭を開催しています。



眺望山（青森市油川）の「生協ふれあいの森」でひばを植樹しました。

5月22日（日）に青森県生活協同組合連合会が主催の第21回ふれあいの森植樹祭にコープあおりの組合員7名、職員4名が参加し、ふれあいの森にひばの苗木を植樹しました。植樹後はふれあいの森周辺の散策とコースターづくりを楽しみました。

